

自主公開研究会を終えて

校長 野上 浩資

昨今「生成 AI」に関する話題を多く見聞きします。技術開発やその利用は日進日歩であり、想像を超える成長スピードです。そのような中、文部科学省(以下文科省)は昨年活用のガイドラインを発表するなど、影響の大波は、学校教育にも及んでいます。本校では、昨年度文科省の「リーディング DX スクール事業」のパイロット校に選定され、研究を続けています。その目的は、生成 AI を学校現場でどのように活用できるか実践検証を行うというものです。具体的には、生徒の学習活動における効果的な活用、教員の業務負担軽減を検討しております。

今年度初めにお伝えしたとおり、本校では授業改善を目的にICTの活用を積極的に行っております。具体的には生成 AI の活用などにより、学習ペースの複線化や教材の多様化、学習形態の選択化などの「指導の個別化」と個別の目標設定や適切な道具立て、フィードバックの充実など「学習の個性化」を図っています。例として、数学科の自由進度学習が主体的に学ぶ生徒の育成として成果を上げています。

そのような研究の成果として、7月4日に続き、10月21日(月)に第2回目となる自主公開研究会を開催しました。「生成 AI と探究」～学びが広がる、深まる～をテーマに研究授業、研究発表を行いました。来校者は県内外から130名に上り、北は青森県、南は沖縄県など全国の教育関係者等に参加していただきました。研究発表では、生徒代表から生成 AI を活用しての成果と課題を生徒目線で発表してもらいました。

参加者からの感想には、「生成 AI を活用しながら主体的で対話的な深い学びが全体的に見られた。」、「生徒が AI に質問や指示をし、対話を重ねながら課題解決や探究的な活動を進め、効率や精度を高めていく学習場面が随所に見られた。」、「生徒の個別最適な学び、生徒たちの協働的な学びに大いに資する学びがあった。」、「生徒が PC を文房具同様に使いこなし感心した。」などがあります。今後も、本校学校教育目標の具現化のために研究を推進してまいります。

保護者の皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

【令和6年度 体育祭】

雨天延期となった9月30日（月）に体育祭が行われました。開会式前に雨が降り出したため、プログラムを変更して午前は開会式と競技、午後は閉会式という行程で行われました。徐々に空も晴れ、生徒たちは体育祭スローガン「Over The Top～闘志を燃やせ～」の通り、闘志を燃やしながら競技に参加していました。また、多くの保護者や小学生から熱い声援をいただきました。どの学年も白熱した競技が行われ、最後の色別対抗リレーは大いに盛り上がりました。今年の優勝は紅組でした。生徒たちは体育祭実行委員を中心に主体的に活動し、仲間と協働しながら素晴らしい体育祭をつくりあげました。



— 結果 — 総合優勝 紅組

色別対抗綱引き	紅組
1年生学級全員リレー	C組
2年生学級全員リレー	B組
3年生学級全員リレー	A組
長縄ゲートウェイ（1年）	A組
ローハイド（2年）	C組
おみこしわっしょい（3年）	A組
色別対抗リレー	紅組

【生徒会役員選挙】

10月9日（水）5・6時間目に生徒会役員選挙が行われました。前半はオンラインで全校生徒向けに候補者と推薦者による最終演説を行い、後半は実際の選挙会場で使用される投票箱を用いて体育館で投票が行われました。今後の新役員の活動が楽しみです。



【総体駅伝】

10月12日（土）市総体の駅伝大会が運動公園で行われました。飯山満中学校を代表して16名の選手が参加しました。結果は男子1時間11分50秒の23位、女子51分45秒の24位でした。選手の皆さん本当にお疲れさまでした。



【3年 第2回進路説明会】

10月16日（水）に第2回進路説明会が行われました。これから具体的に進路選択を決定していく大切な時期となります。生徒の真剣に進路主任の説明を聞く姿が印象的でした。10月下旬からは、三者面談が始まります。



【「福祉まつり」ボランティア】

10月6日（日）に飯山満公民館で「福祉まつり」が行われました。今年も様々な形で生徒が活躍しました。前日の会場設営では、部活動の生徒が手伝いました。当日は正門に美術部作成の看板が掲げられ、飯山満中学校紹介のポスターが展示されました。また、展示や体験ブースのお手伝いをする生徒もいました。地域から多くの方々が来場し、賑わいをみせました。

